

山口市データ連携基盤 API カタログサイト 操作マニュアル

1.1 版

2024年03月22日

改版履歴

日付	版	内容
2023/03/22	1.0	新規作成
2024/03/22	1.1	全体 最新の画面仕様に合わせて一部の画面キャプチャを変更 改版履歴の追加 6 API利用ガイドラインの閲覧 ・API利用ガイドラインの閲覧方法を追記 10.3 APIのテスト実行 ・テスト実行では「GETメソッドのAPI」のみ実行可能であり、「PATCH, POST,DELETEメソッドのAPI」は実行できないことの追記

目次

1 APIカタログサイト概要	3
2 はじめに.....	3
3 ご利用方法	3
4 ご利用にあたっての注意点	3
5 マニュアル・利用規約の閲覧.....	4
6 API利用ガイドラインの閲覧.....	4
7 ログイン方法	5
8 パスワード変更.....	6
9 トップ画面の機能.....	9
10 APIカタログの利用.....	10
10.1 APIカタログへのアクセス方法	10
10.1.1 トップ画面のAPIカタログからアクセスする方法	10
10.1.2 APIカタログ一覧からアクセスする方法.....	11
10.2 API仕様の確認方法.....	12
10.3 APIのテスト実行.....	14
11 アカウント削除	17

1 APIカタログサイト概要

山口市データ連携基盤APIカタログサイトは（以下本サイト）は、山口市データ連携基盤が公開するAPIの利用方法をAPI利用者（開発者）向けに提示するサイトです。APIの利用方法、APIで公開するデータのデータカタログを掲載しています。

2 はじめに

本サイトを利用するには、本サイトのアカウントの登録が完了している必要があります。アカウントの登録をされていない方は山口市までお問合せください。

本資料の画像はイメージになります。実際のイメージとは異なる場合があります。

3 ご利用方法

本サイトを利用するには、ブラウザにて下記URLにアクセスしてください。

URL : <https://api-catalog.smartlifecity-yamaguchi.jp>

アクセスすると図1のトップ画面（ログイン前）が表示されます。



図1：トップ画面（ログイン前）

4 ご利用にあたっての注意点

動作環境（WEB ブラウザ）は以下の通りです。

- ・ Google Chrome（2023年2月時点最新版）
- ・ Microsoft Edge（2023年2月時点最新版）
- ・ Safari（2023年2月時点最新版）
- ・ Firefox（2023年2月時点最新版）

上記ブラウザ以外でアクセスされた場合には正しくサイトが表示されない可能性があります。
暗号化通信 https (SSL : ポート 443) によるご利用となります。

5 マニュアル・利用規約の閲覧

「利用規約」(図2赤色枠線)をクリックすると、本サイトの操作マニュアルや利用規約が掲載されている山口市HP (<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/200/133545.html>)へ遷移することができます。

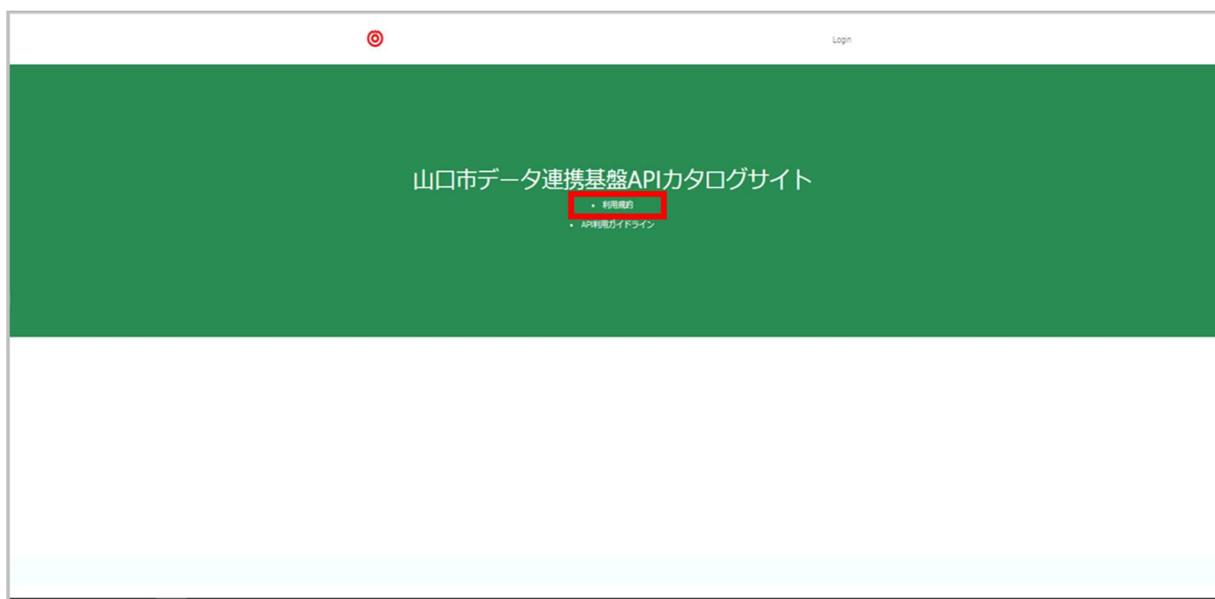


図2 : 「利用規約」(図2赤色枠線)

6 API利用ガイドラインの閲覧

「API利用ガイドライン」(図3赤色枠線)をクリックすると、本サイトのAPI利用ガイドラインが掲載されたPDFが表示されます。



図3 : 「API利用ガイドライン」(図3赤色枠線)

7 ログイン方法

本サイトへログインするため、画面右上の「Login」(図4赤色枠線)をクリックしてください。



図4 : 「Login」(図4赤色枠線)

ログイン画面では、本サイトに登録しているメールアドレスとパスワードを入力し、「ログイン」(図5赤色枠線)をクリックします。ログイン後は図6のトップ画面(ログイン後)に遷移します。

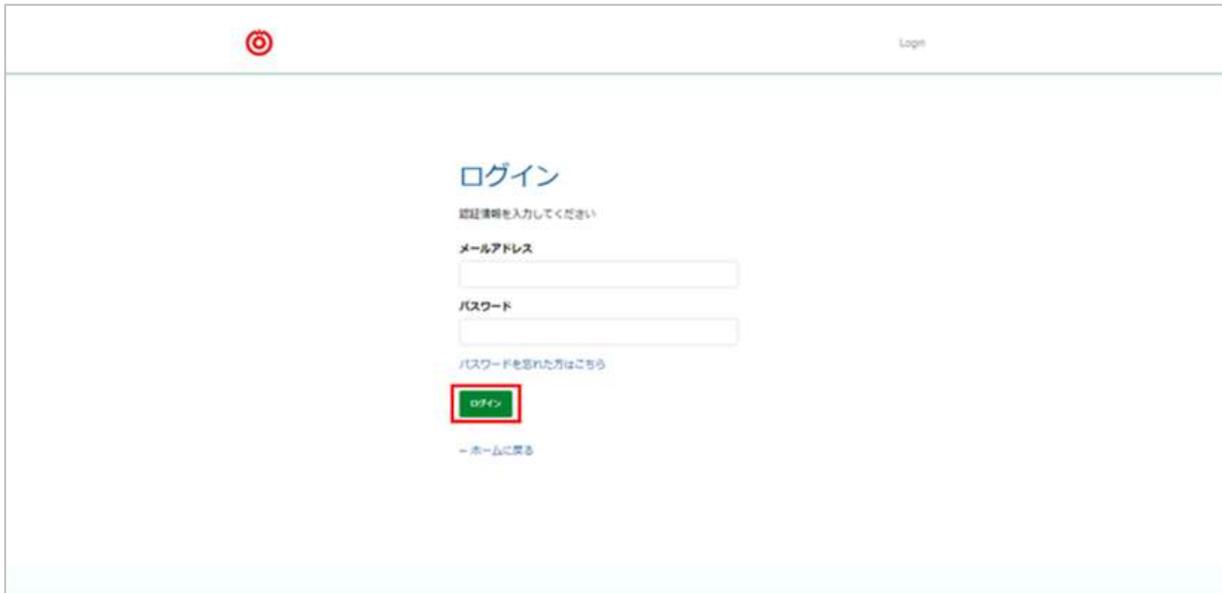


図5 : 「ログイン」 (図5赤色枠線)

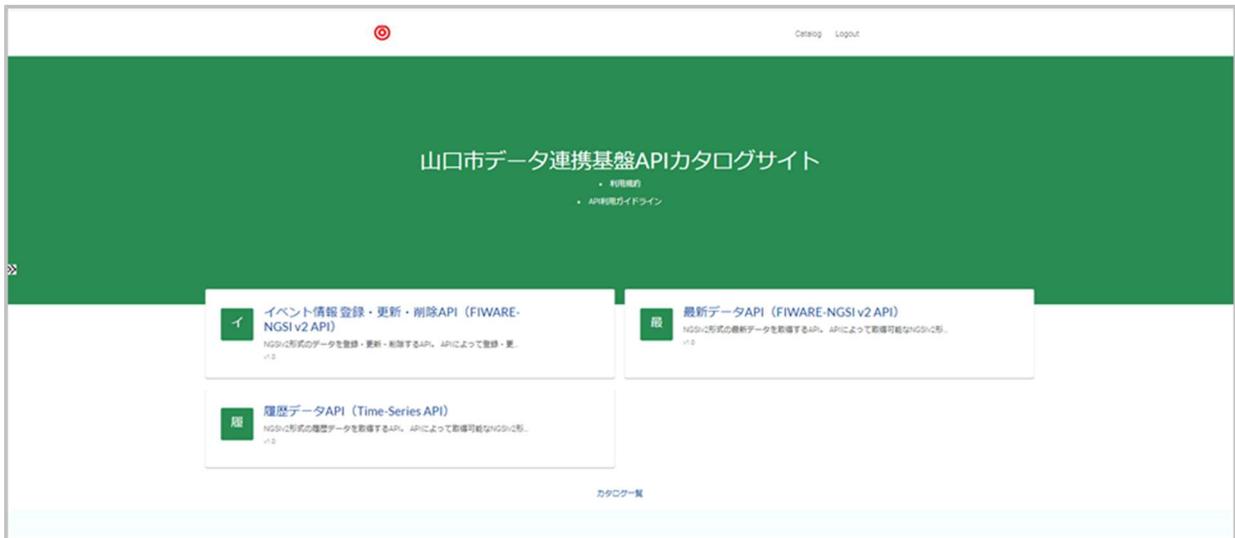


図6 : トップ画面 (ログイン後)

8 パスワード変更

図7のログイン画面から「パスワードを忘れた方はこちら」(図7赤色枠線)をクリックし、図7のパスワード変更申請画面に遷移します。

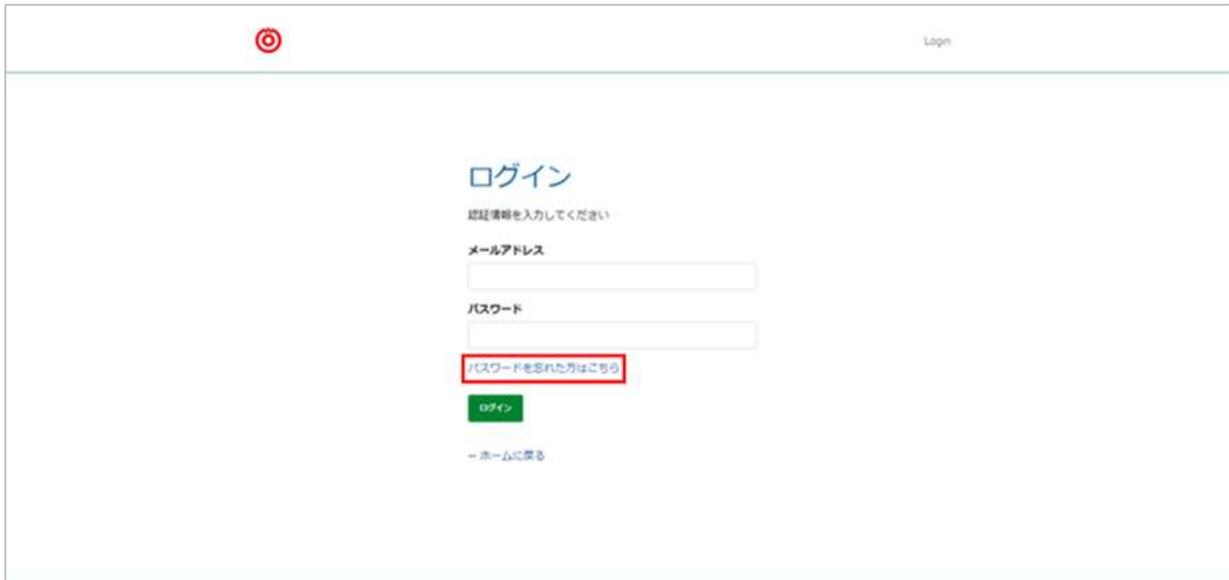


図7：「パスワードを忘れた方はこちら」（図7赤色枠線）

パスワード変更申請画面では、アカウント申請時のメールアドレスを入力し、「RESET MY PASSWORD」（図8赤色枠線）をクリックしてください。

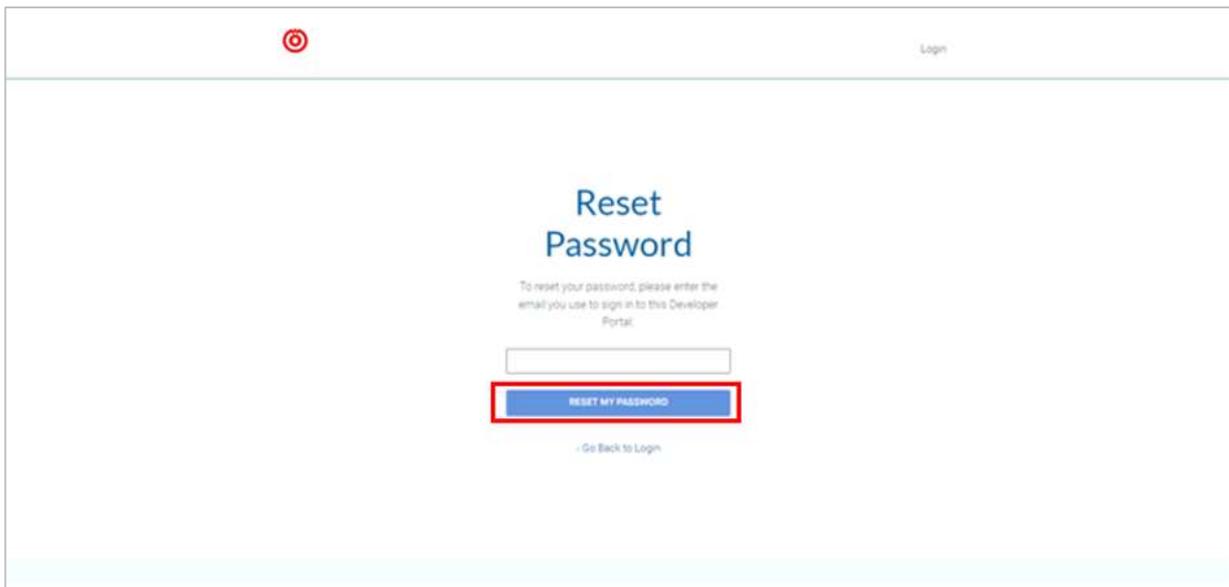


図8：パスワード変更申請画面

入力したメールアドレス宛にパスワード変更画面のURLが記載されているメールが届きます。（パスワード変更のメールは図9を参照）送信元アドレス：api-catalog@smartlifecity-yamaguchi.jp 件名：Password Reset Instructions for Developer Portal <https://api-catalog.smartlifecity-yamaguchi.jp/default>

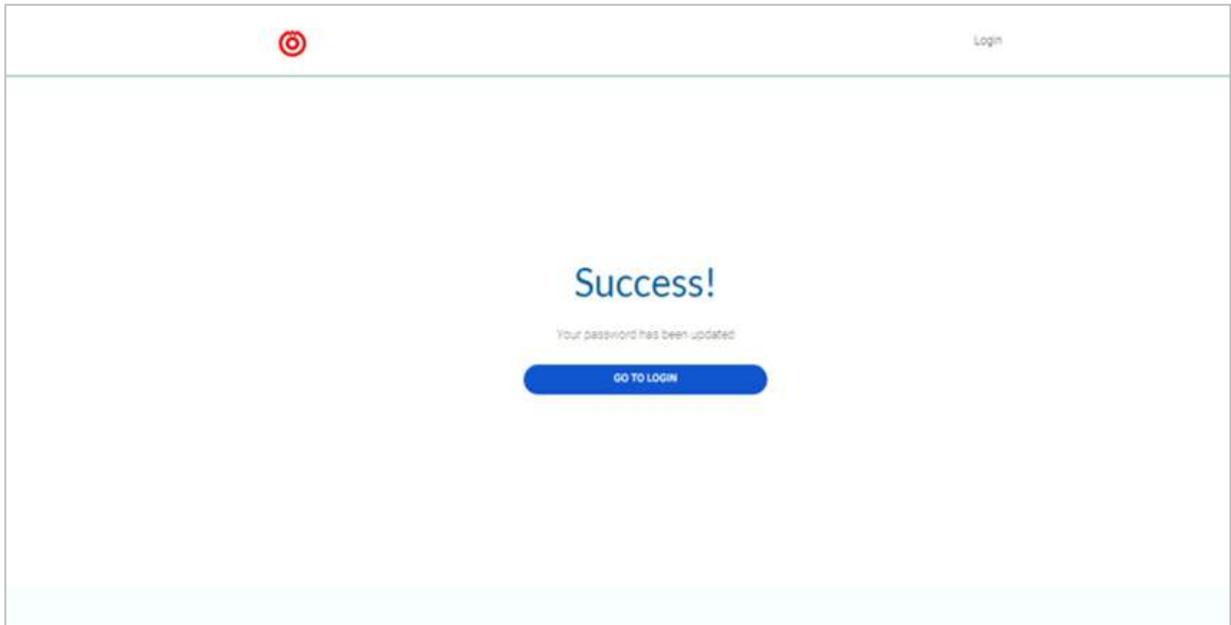


図11：パスワード変更完了画面

9 トップ画面の機能

本サイトを利用するにあたり、トップ画面の各機能（図12の赤枠①～⑤）を以下に記載します。



図12：トップ画面

① 利用規約

図12の赤色枠線①「利用規約」をクリックすると、API利用にあたり遵守していただく事項が掲載されている山口市HP※へ遷移します。

※<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/200/133545.html>

② API利用ガイドライン

図12の赤色枠線②「API利用ガイドライン」をクリックすると、API利用にあたり遵守していただくガイドラインが掲載されたPDFが表示されます。

③ APIカタログ

図11の赤色枠線③のAPIカタログでは、山口市データ連携基盤が公開するAPIカタログのうち、ユーザーが閲覧可能なAPIカタログが表示されます。APIカタログをクリックすると、API仕様画面へ遷移します。

④ カタログ一覧

図11の赤色枠線④「カタログ一覧」をクリックすると、山口市データ連携基盤が公開するAPIカタログのうち、ユーザーが閲覧可能なAPIカタログの一覧が表示されます。

※赤色枠線⑤のCatalogと同様にAPIカタログ一覧の画面へ遷移します。

⑤ Catalog

図11の赤色枠線⑤「Catalog」をクリックすると、山口市データ連携基盤が公開するAPIカタログのうち、ユーザーが閲覧可能なAPIカタログの一覧が表示されます。

※赤色枠線④のカタログ一覧と同様にAPIカタログ一覧の画面へ遷移します。

⑥ Logout

図11の赤色枠線⑥「Logout」をクリックすると、本サイトからログアウトします。

10 APIカタログの利用

本サイトではOpen API Specificationに準拠した形式で、APIカタログを公開します。ここでは、APIカタログへのアクセス方法とAPI仕様の確認方法を記載します。

10.1 APIカタログへのアクセス方法

APIカタログへのアクセス方法は、トップ画面に表示されているAPIカタログからアクセスする方法とAPIカタログ一覧からアクセスする方法の2パターンがあります。

10.1.1 トップ画面のAPIカタログからアクセスする方法

トップ画面からAPI仕様を確認したいAPIカタログをクリックします。ここでは例として、「最新データAPI (FIWARE-NGSI v2 API)」(図13 赤色枠線)をクリックします。



図 15 : トップ画面

API カタログ一覧の「カタログ名検索」（図 16 赤色枠線）にて API カタログ名を入力することで API カタログを検索できます。API 一覧に表示されている API カタログから API 仕様を確認したい API カタログをクリックすると、図 17、18 の API 仕様画面に遷移します。

※全角 3 文字以上、半角 4 文字以上を入力することで検索できます。

※検索にヒットしない場合、「検索結果がありません。検索条件を変えて再度お試しください。」と表示されます。



図 16 : API カタログ一覧画面

10.2 API仕様の確認方法

ここでは、山口市データ連携基盤APIの仕様画面を例にAPI仕様の確認方法について記載します。図16の赤色枠線①「最新データAPI（FIWARE-NGSI v2 API）」をクリックすると、図17のAPI仕様画面に遷移します。

山口市データ連携基盤APIによって取得可能なNGSIv2形式のデータカタログのPDFを閲覧できます。データカタログでは以下を確認できます。※図17赤色枠線①指定緊急避難場所兼指定避難

所は例です。

- ・ エンティティID、エンティティタイプの種類
- ・ エンティティに対する属性値一覧とその説明

※赤色枠線②「1.0」はAPIのバージョンになります。

※赤色枠線③「OAS3」はAPIの仕様に関する記法のOpenAPI Specification Version 3.0.3の略になります。

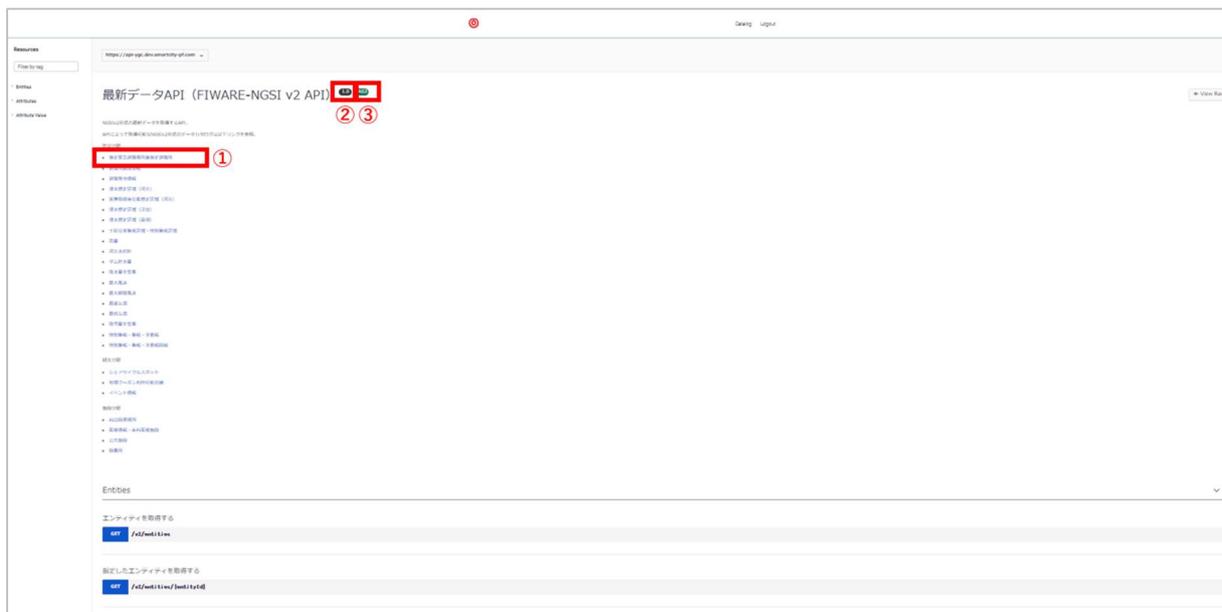


図17：API仕様画面

API仕様を確認するため図18の赤色枠線内をクリックすると、図19のAPI仕様の詳細情報が表示されます。

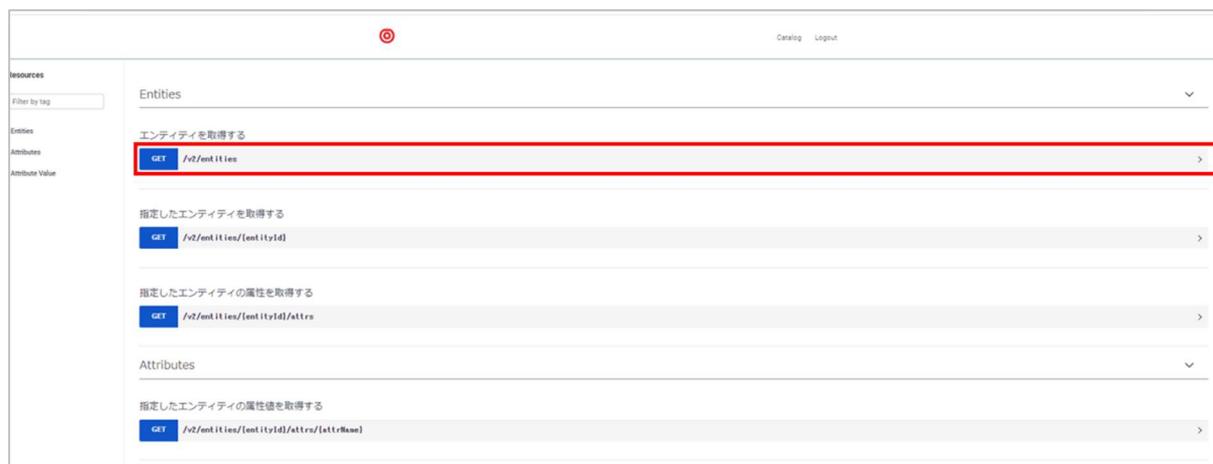


図18：API仕様画面

図19の赤色枠線①では、API実行に必要な情報等の仕様を確認することが可能です。また、テスト実行が可能となります。テスト実行の方法については、次節で記載します。

図19の赤色枠線②では、テスト実行によるコード・スニペット※1の確認が可能です。

※1：コード・スニペットは再利用可能なソースコードの断片という意味で、リクエストサンプル（利用者がどのようにAPIを呼び出して使用することができるか）を示します。コード・スニペットを利用することで、APIの呼び出しプログラムを容易に実装することが可能です。

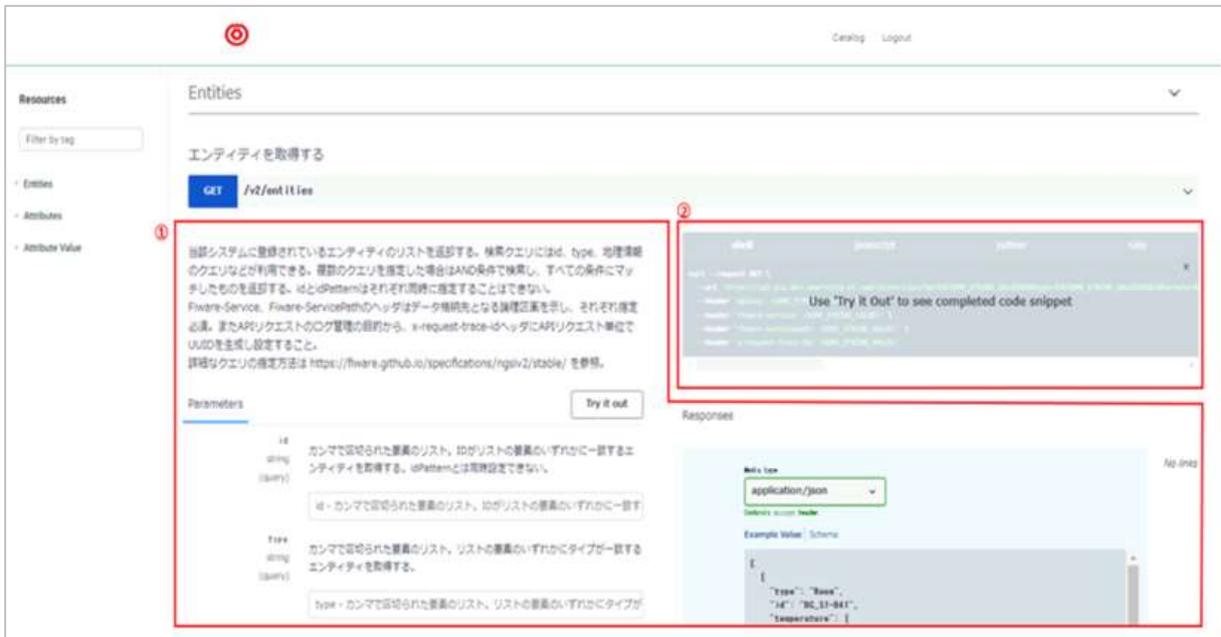


図19：API仕様の詳細情報

10.3 APIのテスト実行

ここではテスト実行の方法を記載します。

【事前準備】

- ・ 山口市よりAPIKeyが払い出されていること。
※APIKeyが払い出されていない方は以下のサイトから山口市に申請してください。
URL：<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/200/133545.html>
- ・ UUID（Version4）を生成していること。
- ・ 取得したいデータのデータカタログ（PDF）を開いていること。

テスト実行では「GETメソッドのAPI」のみ実行可能です。「PATCH、POST、DELETEメソッドのAPI」は実行できません。

「Try it out」（図20赤色枠線①）をクリックすると、赤色枠線②のAPIリクエストで設定可能なパラメータを入力することが可能となります。

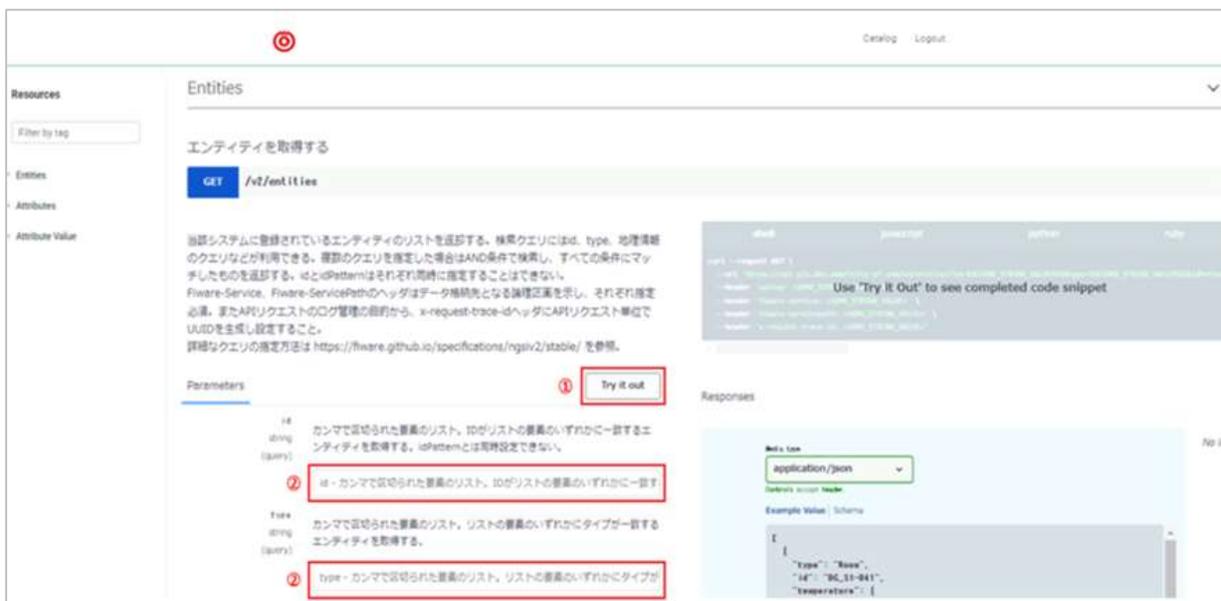


図20 : 「Try it out」画面

「Required」（図20赤色枠線①）と記載されたパラメータについては、記入必須となります。データカタログに記載されているヘッダ情報（Fiware-Service、Fiware-ServicePath）や山口市より発行されたAPIキーを入力し、「Execute」（図20赤色枠線②）をクリックします。

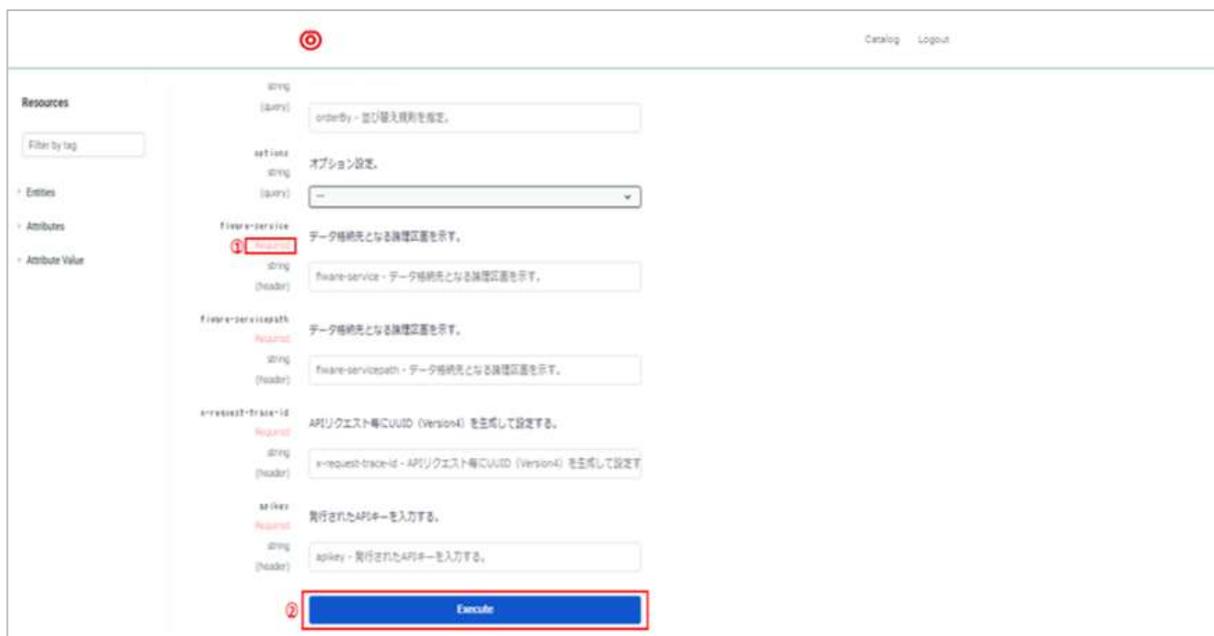


図21 : 「Execute」画面

「Execute」をクリック後、図22のローディング画面に遷移します。

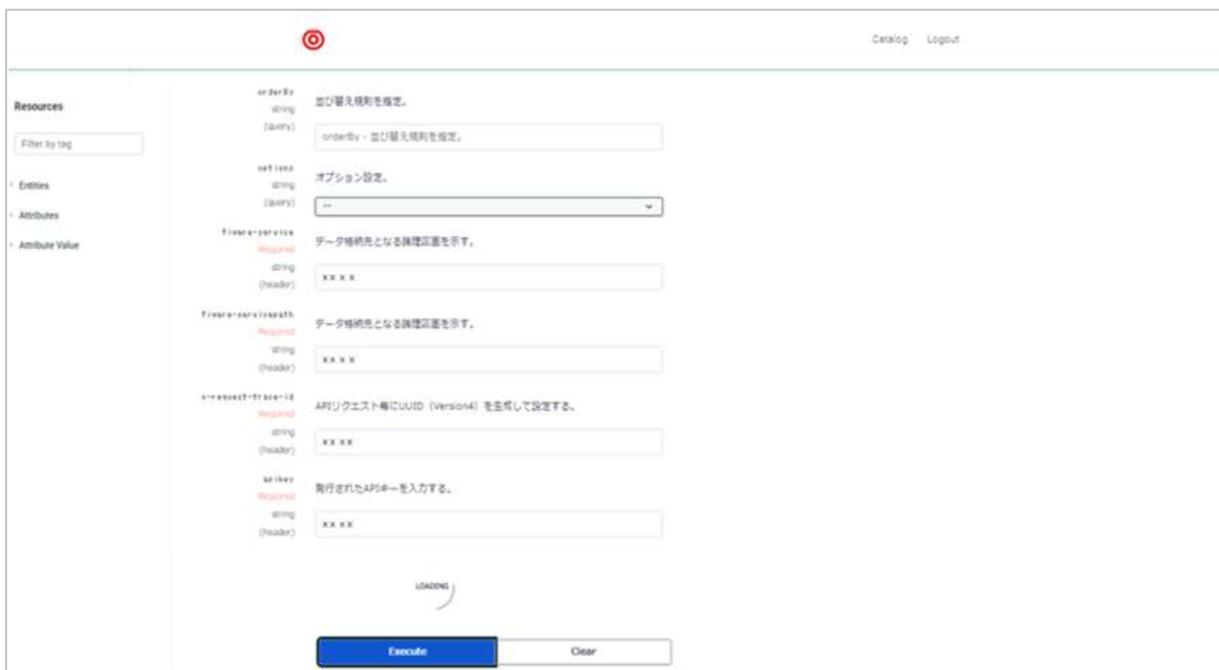


図22：テスト実行時ローディング画面

ローディング後、図22の赤色枠線①では、コード・スニペットのレスポンス結果が表示されます。図23の赤色枠線②では、サーバーのレスポンス結果が表示されます。

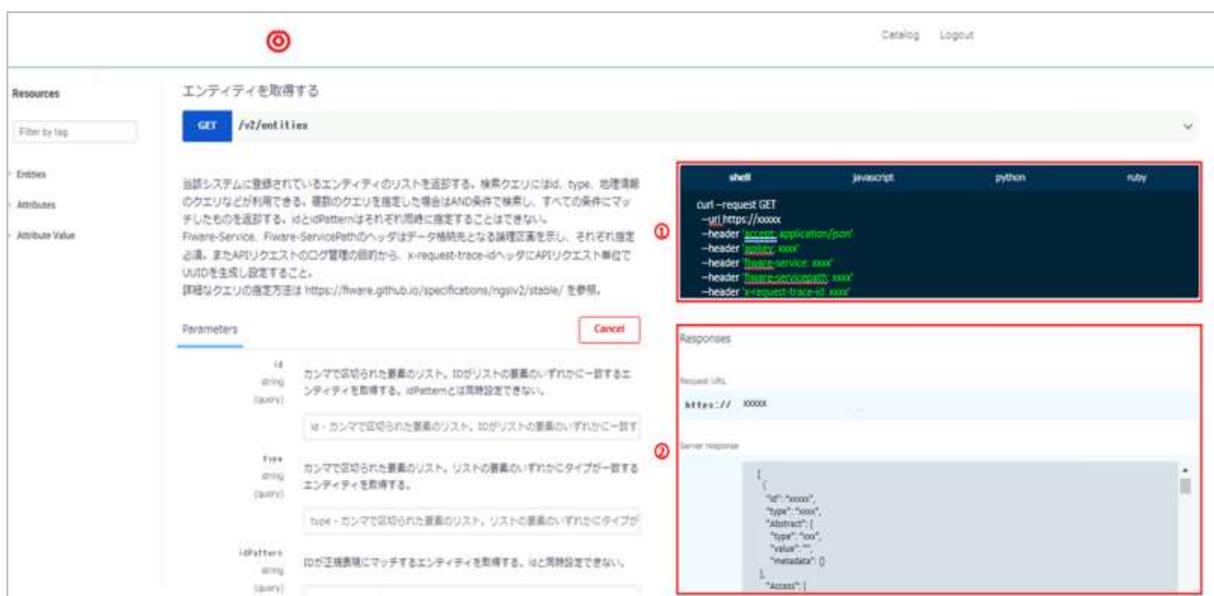


図23：テスト実行のレスポンス結果

再度テスト実行する場合は、図24の「Execute」をクリックすると、図23の画像の通り、コード・スニペットのレスポンス結果やサーバーのレスポンス結果が表示されます。

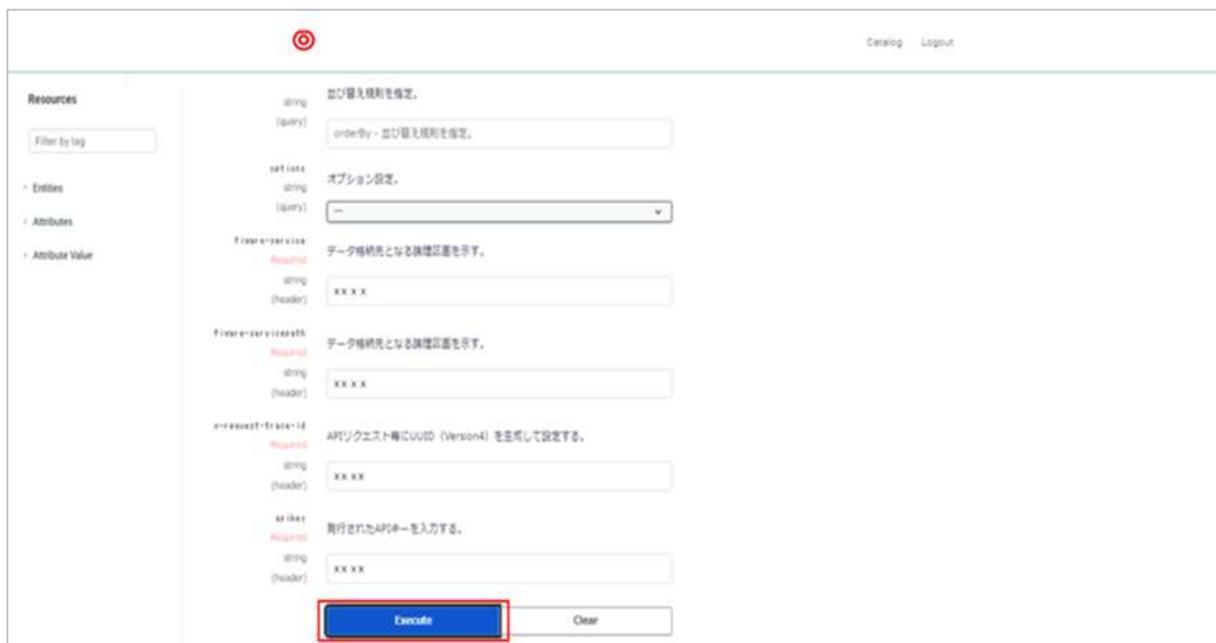


図24：APIテストの再実行

11 アカウント削除

本サイトのアカウントを削除するには、[山口市へご連絡](#)をお願いいたします。